

第4回建設産業戦略的広報推進協議会 議事概要

日時：平成26年2月17日（月）10：00～12：00

場所：（一財）建設業振興基金 3階会議室

- ロゴマークについては全体で49件の応募があり、49件の中から一次審査で5件を選考、当該5件の中から最優秀作品の選考を行ったところ、窪田携馬氏の作品を最優秀作品として決定した。

また、一次審査で選考された他の4作品は優秀作品とした。

- 顧問、アドバイザー及び委員より、平成26年度建設産業戦略的広報推進協議会事業計画（案）について、以下のような発言があった。

- ・ 各地域の協会によって温度差があり、積極的に活動していく協会は動いているから大丈夫であるが、動いていない協会には本協議会の活動などを積極的に伝えていきたい。
- ・ 建設産業戦略的広報推進協議会として年間の行事予定を決めるのは趣旨と違う。子ども霞が関見学デーは日程が決まっているから良いと思うが、10～12月に工業高校とイベントを行うということは実現可能性が低いと思われる。実際に行われている活動を広めていく方が効果的だと思う。4月28日が造園の日（良い庭の日）、9月1日が杭の日、11月16日が塗装の日（いい塗装の日）など、実際にある行事の間口を広めるのが大事なのではないか。工業高校の先生方も少子化の中で中学校などにもアピールをしているが、一般的に知られていないのが実情なので、こうした活動を拾い上げる努力が必要なのではないか。建設産業が叩かれる時もあるが何をやっている産業なのかを広めていくことが必要だと思われる。
- ・ 業界では建設産業戦略的広報推進協議会は注目されている。各団体の事業計画が決まる時期であることから、事務局側で情報を収集し、本協議会として情報発信して欲しい。
また、各団体で出来ない取組みを本協議会としてコラムなどで発信して欲しい。
- ・ 子ども霞が関見学デーは、小学生をメインターゲットとするのであれば、建設業に関するクイズ形式の催し物など行ってみたらコストも掛からずにできるのではないか。
- ・ 各団体において取り組まれている活動をPRして頂きたい。日本青年会議所の活動も取り上げて頂きたいと思っている。
- ・ 各団体で行われているものを発信する方が手間も掛からず効果的であると思う。また、出すタイミングも大事であり、秋には東海道新幹線開通50周年があるので、これに関

連する事業を集めると、記事を書く側からしても取り上げる時期として伝えやすいと思われる。子ども霞が関見学デーに関しても、単に重機を集めるよりも珍しいものを取り上げると良いと思う。メンテナンスに関連して国交省で検討しているロボットなどをタイミングよく発信していくと良いのではないか。

- ・ 現在、建設業は良くも悪くも色々とマスコミから注目されている。まず、そろそろ次年度の事業計画が決まってくるので、各団体の年間のイベントを集めて欲しい。また、防災の日か公共建築の日などで、全国一斉に建設業界が街の中の清掃などに取り組むだけでマスコミに取り上げられる可能性はある。個別分散の活動よりは、来年度あたりからまとまりがある活動を少しずつ始めてみては思う。NHKの各支局で取り上げられる可能性はある。再来年あたりぐらいからは、全国大会みたいなものを実施する企画も考えてみてはどうであろうか。全建、全中建、建専連などの団体で日程を合わせ、就職イベントに協議会として参画することも考えて欲しい。今年は土木学会が100周年であり、業界として大きなことなので何らかを行う必要がある。メンテナンスも注目されているので、各地整単位で色々を行っているが、全国一斉に取り上げてもらう努力も必要だと思われる。
- ・ 本協議会は専門紙や一般紙の記者、国会も注目しているので来年も積極的に活動していきたい。国交大臣も2020年以降の担い手不足に対して危機感を持っており、1月14日に副大臣を座長にした建設産業活性化会議が立ち上がっており、今年の夏までに中間とりまとめを行う予定である。戦略的広報の議論もその中で出る可能性はあるが、26年度に本協議会として何をしていくのかを皆様と議論していきたい。
- ・ 現在、建設業が置かれている状況や今後の建設業の見通しなども総合HPに出すことも必要なのではないか。

以上